

事務事業名	水田農業推進事業		会計	一般会計	実施区分	継続			
			事業種別	政策	開始	S46 終了			
H29作成課等名	農業課	H29係等名	生産振興係	H28担当課等名	農業課				
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり						
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化						
目的	対象(誰・何を)	販売農家			指標名及び単位	28年度数値			
	意図(どういう状態にするか)	・米需要に応じた米の生産・水田を利用し国家戦略作物(大豆・そば)や園芸作物の栽培・売れる米づくりや公共施設給食利用等を目的に特別栽培米(こだわり米)の生			対象指標	水稲作付け面積(ha) ※年度別 作付け面積(報告数値)	724		
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円				販売農家(交付金申請農家)	6222		
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	水稲作付設定面積における産地資金交付面積割合(%)			0.16	0.17	0.2	0.21	
	定性目標								
事業概要	平成22年度から、国の制度変更に伴う米の生産調整を行い、生産調整実施者に対してそのメリット対策である経営所得安定対策事業への加入を支援してきた。また、水田のフル活用を推進するため、園芸作物ばかりでなく、大豆、そば、新規需要米といった国の戦略作物の普及・推進を図ってきた。平成30年度から米政策が大きく転換するため、国の制度改革の内容を生産者に対して説明しながら、振興作物の生産を推進していく。								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 水田不作付地における作付改善計画書の確認				1 作付改善計画書の確認		1 10人		
	2 戦略作物(WCS)作付推進				2 作付面積		2 123.1a		
	3 新たな需要に応える転作作物(玉ねぎ、キャベツ等)の推進				3 勉強会		3 3回		
	4 水田協議会への参加(南信州・飯田市)				4 総会・幹事会等		4 10回		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		500	620	620	0	(県)水田農業経営確立推進指導事業補助金(10/10)			
国庫支出金									
県支出金		500	620	620					
起債									
その他									
一般財源									
人件費計(千円)②		0	3,040	1,788	0				
正規職員所要時間			850	500					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		500	3,660	2,408	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	水田をフル活用するため経営所得安定対策交付金を利用し促進を図ってきた。特に大豆栽培への転作に取り組んできた。また、H28年度からは、新たに国の戦略作物であるWCS(発酵粗飼料)用稲の作付推進を目的とした試験栽培に取り組んだ。試験栽培によって生産した稲WCSの品質は高く、当地でもWCS用稲の栽培利用が十分可能であると確認できた。今後は、費用面における効率的な事業運営を目指す。								
改革改善の考え方	①問題点	農家による自主的な転作の促進が進まないこと。							
	②改革提案	農家による自主的な転作を促進させるよう、収益性の高い転作作物の試験的栽培や研究等を行う。また、農地集積の強化による不作付地の解消や、後継者のいない農地を、人・農地プランに結び付けられるよう情報共有の仕組みづくりを行う。							